

2022年度 上半期経営状況

茨城県信用農業協同組合連合会の2022年度上半期(2022年4月1日から2022年9月30日)における経営状況(単体)について、ご案内いたします。

業 績

1. 主要勘定の状況(期末残高)
2. 損益の状況
3. 単体自己資本比率の状況
4. 農協法および金融再生法に基づく開示債権の状況
5. 有価証券等時価情報

社会的責任と地域貢献活動

1. 地域からの資金調達の状況
2. 農業・地域への資金供給の状況
3. JAバンク自己改革の県域取組み状況
4. 文化的・社会的貢献活動状況



JAバンク茨城県信連

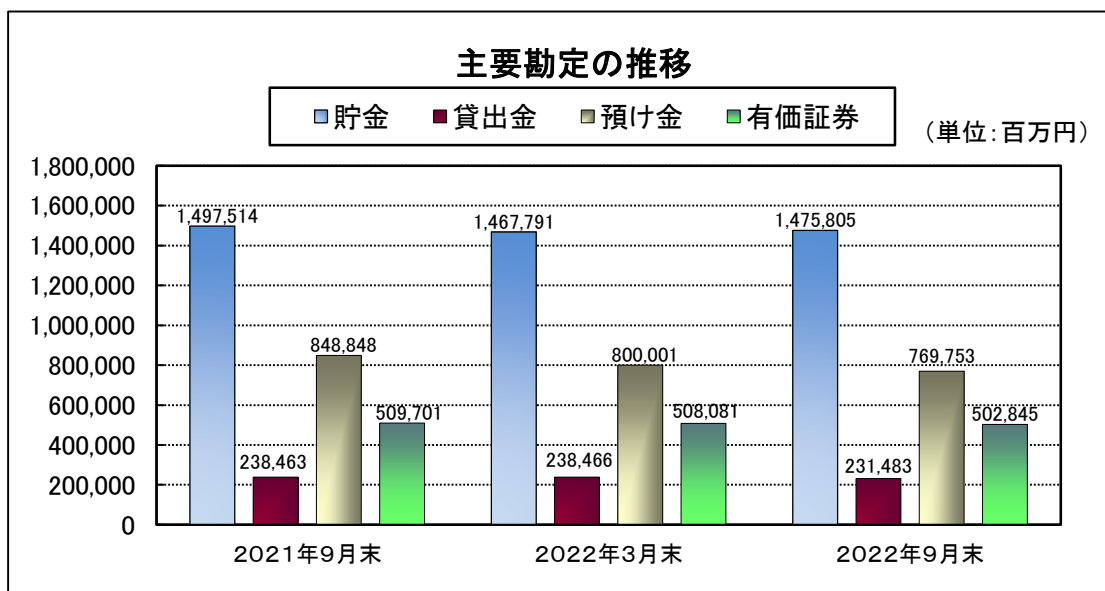
IBARAKI Prefectural Credit Federations of Agricultural Cooperatives

業 績

1. 主要勘定の状況(期末残高)

(単位:百万円)

	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
貯 金	1,497,514	1,467,791	1,475,805
貸 出 金	238,463	238,466	231,483
預 け 金	848,848	800,001	769,753
有 価 証 券	509,701	508,081	502,845



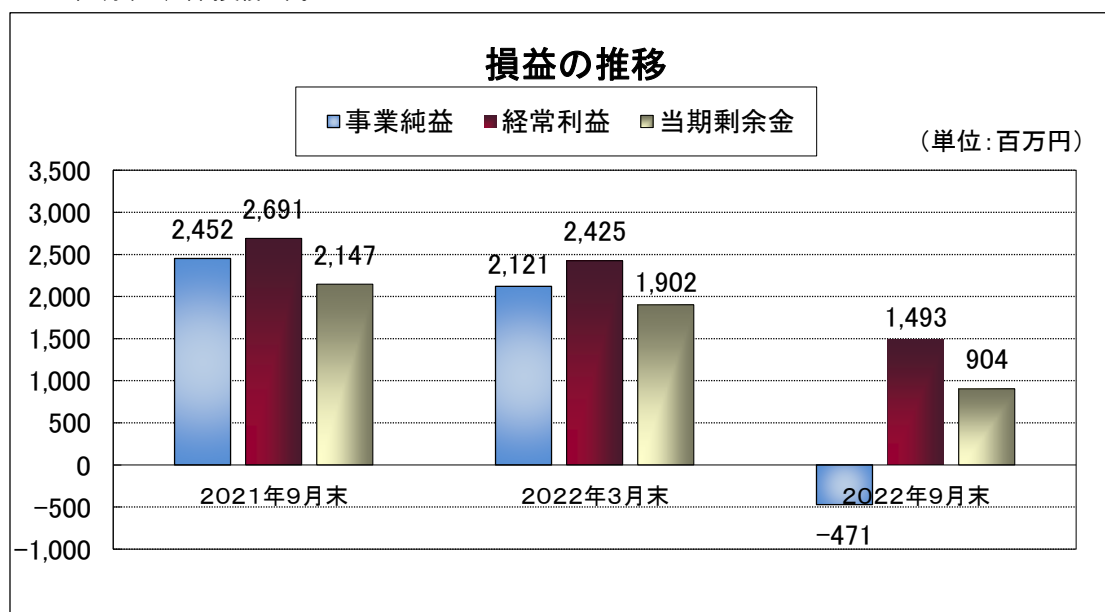
2. 損益の状況

(単位:百万円)

	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
事 業 純 益	2,452	2,121	▲ 471
経 常 利 益	2,691	2,425	1,493
当 期 剩 余 金	2,147	1,902	904

(注) 2021年9月末および2022年9月末は、半期実績です。

2022年3月末は、年間実績です。

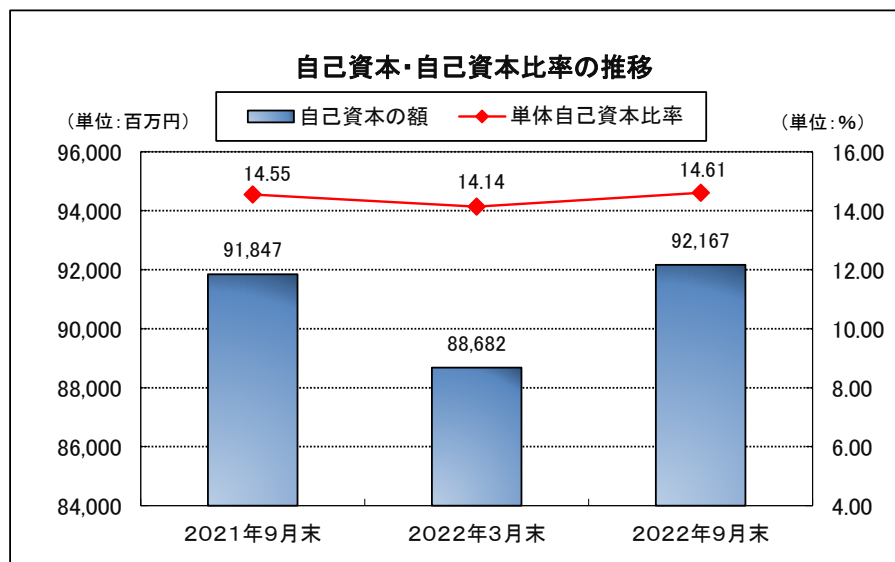


3. 単体自己資本比率の状況

(単位:百万円)

	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
自己資本の額	91,847	88,682	92,167
リスク・アセット等	631,229	626,880	630,500
自己資本比率	14.55%	14.14%	14.61%

(注)「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年3月28日付金融庁・農林水産省告示第2号(最終改正:令和2年3月31日付金融庁・農林水産省告示第2号))に基づき算出しています。

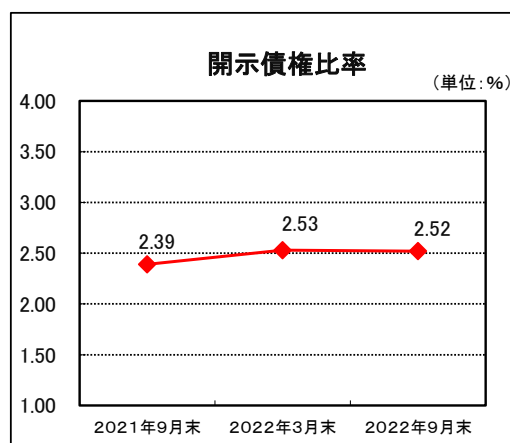


4. 農協法および金融再生法に基づく開示債権の状況

□開示債権

(単位:百万円)

	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
債権総額A	239,806	239,688	232,744
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	283	281	285
危険債権	5,444	5,767	5,571
要管理債権	7	5	4
三月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	7	5	4
開示債権総額B	5,735	6,054	5,861
正常債権	234,071	233,633	226,883
担保保証等回収可能額C	1,986	1,915	1,824
貸倒引当金D	3,744	4,137	4,035
債権総額に占める開示債権比率 B/A	2.39%	2.53%	2.52%
保全率 (C+D)/B	99.94%	99.96%	99.98%



(注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始, 更生手続開始, 再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが, 財政状態および経営成績が悪化し, 契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

農協法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

4. 三月以上延滞債権

元本または利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で, 破産更生債権及びこれらに準ずる債権および危険債権に該当しないものをいいます。

5. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建または支援を図ることを目的として, 金利の減免, 利息の支払猶予, 元本の返済猶予, 債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で, 破産更生債権及びこれらに準ずる債権, 危険債権および三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

5. 有価証券等時価情報

□有価証券

(単位:百万円)

保有区分	2021年9月末			2022年3月末			2022年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
売買目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	489,126	509,701	20,575	498,786	508,081	9,294	506,712	502,845	▲ 3,866
合計	489,126	509,701	20,575	498,786	508,081	9,294	506,712	502,845	▲ 3,866

(注) 1. 時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。

2. その他有価証券の取得価額は、償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。

□金銭の信託

(単位:百万円)

保有区分	2021年9月末			2022年3月末			2022年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
運用目的	6,000	6,023	23	1,456	1,456	-	5,500	5,407	▲ 92
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	30,000	31,549	1,549	30,619	31,012	392	35,755	35,103	▲ 652
合計	36,000	37,572	1,572	32,075	32,468	392	41,255	40,511	▲ 744

(注) 1. 時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。

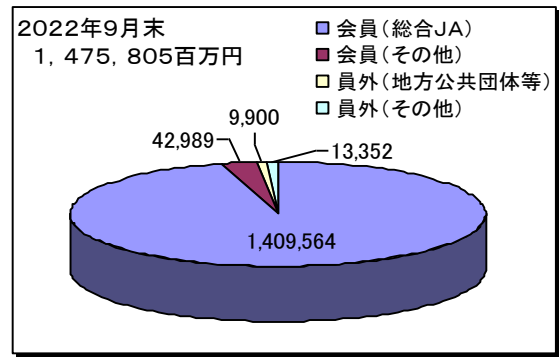
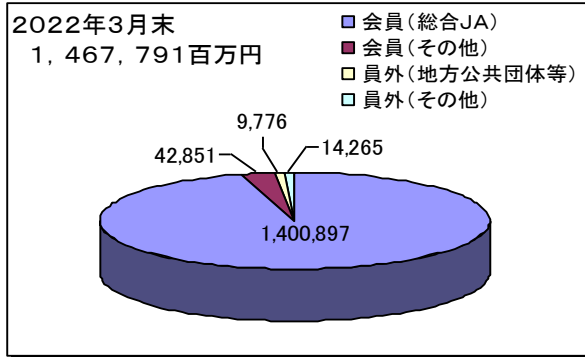
2. その他金銭の信託の取得価額は、償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。

社会的責任と地域貢献活動

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた組合員および利用者のみなさまの大切な財産である貯金です。また、お預かりした大切な貯金は、資金を必要とする組合員および利用者のみなさまや、JA・農業に関連する企業および地方公共団体などにご提供することによって、地域社会・地域経済の発展に貢献しています。

1. 地域からの資金調達状況

□ 貯金残高

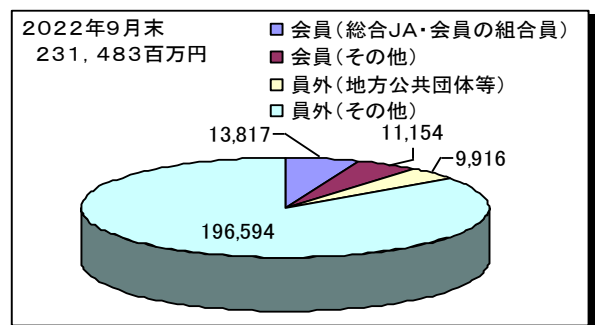
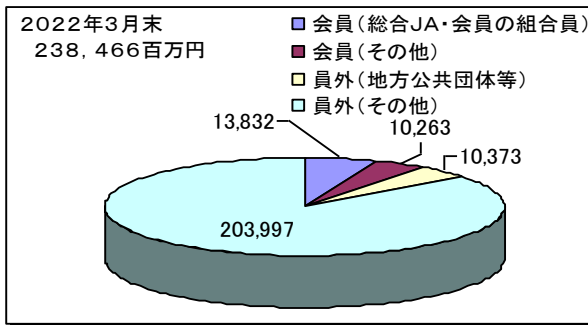


○ JAバンク茨城SDGs定期貯金「子ども食堂応援定期貯金」の取扱開始

SDGsの17目標にある「貧困」「飢餓」「健康と福祉」の解決や、農業・地域の未来を担う子どもたちの成長に役立てていただきたく、定期貯金の受入額に応じて、県内の子ども食堂へ寄付することとしています。【取扱期間:2022年7月～2023年1月末まで】

2. 農業・地域への資金供給状況

□ 貸出金残高



○ 県内JAの主な農業資金取扱状況(2022年9月30日現在)

(単位:百万円)

資金名	当会および県内JAの取扱残高	資金の内容
新認定農業者育成特別資金	5,817	認定農業者の農業経営に関わる一切の資金
農業経営拡大資金	5,708	農業経営に関わる一切の資金
農業近代化資金	2,740	施設・機械の取得、果樹の植栽・育成、家畜の購入・育成、長期運転資金等
JA営農ローン	452	営農に必要な資金(運転資金)
就農施設支援資金	102	農業経営を開始する際に必要な機械、施設または資材の購入等に必要な資金
農業改良資金	103	新たな農業部門・農産物加工事業を始めるための資金

○ ESG融資、資金融通への取組み

当会の事業基盤である農林水産業や地域社会の持続可能性を確保するにあたり、企業等における環境・社会面での持続可能な経済活動に対し、資金調達を通じて支援するため、ESGローンに取り組んでいます。また、食と農の未来を考えるうえで関連性の高い環境問題や脱炭素化の取組みとして、ESG債(グリーンボンド・トランジションボンド)を取得しています。

3. JAバンク自己改革の県域取組み状況

当会の3か年中期経営計画では、「農業」、「くらし・地域」、「経営の基盤・持続性確保」、「不変の実践事項」の取組みを通じて、持続可能な農業・地域社会の実現を支えていくため、県内JAと一体となったJAバンクならではの金融仲介機能を発揮することを事業活動の基本方針としています。

当会は本県農業の発展と農家所得の向上を金融・非金融両面から取り組み、農業資金残高のシェア向上および担い手満足度向上を目指すとともに、食と農を通じた地域活性化に貢献していきます。

□ 農業者支援事業（当会主体事業）

○ 出向く体制の整備・強化

JA全農いばらきとの連携による同行訪問等、担い手経営体（農業法人）への直接アプローチを強化・実践しています。また、JA担当者との同行訪問等により、JA農業融資残高伸長に向けた取り組みを実践しています。

<全農いばらきとの連携取組み成果>

（単位：件、百万円）

2022年3月末			2022年9月末		
新規アプローチ先数	新規取引件数	取引金額	新規アプローチ先数	新規取引件数	取引金額
135	3	50	149	3	90

（注）2022年3月末は年間実績、2022年9月末は半期実績です。

<JAとの同行訪問結果>

（単位：件）

2022年3月末			2022年9月末		
同行訪問先数	有効面談数	資金需要確認先	同行訪問先数	有効面談数	資金需要確認先
新型コロナウイルス感染拡大防止のため訪問自粛			220	138	71

（注）2022年3月末は年間実績、2022年9月末は半期実績です。

○ 各種JA取扱資金に対する当会助成事業実績

（単位：件、千円）

資金名	2022年3月末		2022年9月末		助成内容
	件数	金額	件数	金額	
新認定農業者育成特別資金利子助成事業	4,720	20,616	3,851	15,462	農業者等が、JAから新認定農業者育成特別資金をお借入した場合の利息相当額の負担軽減を図るために利子を助成。
新認定農業者育成特別資金保証料助成事業	798	13,178	387	6,479	農業者等が、JAから新認定農業者育成特別資金をお借入した場合の保証料相当額の負担軽減を図るために保証料を全額助成。
農業近代化資金保証料助成事業	65	9,189	47	4,842	農業者等が、JAから農業近代化資金をお借入した場合の諸費用の負担軽減を図るために一括前払い保証料を全額助成。

（注）2022年3月末は年間実績、2022年9月末は半期実績です。

○ 食農関連企業への資金対応

ウィズコロナに対応した新規訪問アプローチの実施により、持続可能な食料システムの構築に寄与する食農関連企業等への資金供給に取り組んでいます。

○ 担い手コンサルティングの取組み

当会取引先の食農関連企業の経営課題解決へ向けて、財務分析等を通じた事業改善取組みの提案などを行う「担い手コンサルティング事業」を展開しています【2021年度実績:2先】。

○ ビジネスマッチング機会の創出

農業生産法人や食農関連企業の販路開拓・取引先拡大を目的とした訪問活動など、ビジネスマッチング機会の創出に向けた取組みを実践しています。

○ JA農業資金の創設

資金名	取扱開始時期	資金の内容
JA交付金等つなぎ資金	2022年6月	水田活用交付金等支給までの資金繰り対応
豚熱経営対策緊急支援資金	2022年8月	経営再建に向けて必要な運転資金および設備資金対応
原油価格・物価高騰等対策資金	2022年10月	原油価格・物価高騰等の被害(コスト増)への対応
アグリマイティー資金	2022年11月	設備・運転資金の長期資金対応

4. 文化的・社会的貢献活動状況

当会は文化、教育、環境活動を通じて、SDGsの達成や地域社会の活性化に積極的に取り組んでまいります。

□ 「JAバンク食農教育応援事業」への取り組み

JAバンクでは、食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子供たちの農業に対する理解の深耕を図り、農業ファンの拡大と地域の発展に貢献することを目的に、食農教育・環境教育・金融経済教育を基本テーマとする教材本を作成しています。

この教材本は、県内478校の小学5年生を対象に、県内各JAを通じて40,350冊を無償配布し、社会科・理科・総合学習のなかで広く活用されています。

<教材本>



<贈呈式の模様>



□ 「JAバンク茨城年金友の会情報誌、会員証」の発行

県内JA年金友の会の活動内容(グラウンドゴルフ交流大会)や、くらしに役立つ医療情報等を中心に、「JAバンク茨城年金友の会情報誌」を年1回(11月)発行しています。

また、県内JAの年金友の会会員(約10万4千人)を対象に、「JA年金友の会会員証」を発行しています。この会員証は、県内の各JAに年金を振込指定された会員の方に発行しており、会員証をご提示いただくと、県内の協力店舗で割引等の各種サービスが受けられる仕組みとなっています。

現在、特典協力店舗は176店舗(2022年10月末)あり、更なる会員へのサービス向上に向けて協力店舗を拡充しています。

<情報誌第26号>



<会員証>



□ JAバンク利用者の利便性向上への取り組み

○ 非対面チャネルの活用促進

JAをご利用いただいているお客様の利便性・安全性向上のため、個人ネットバンク・法人ネットバンク・JAバンクアプリ・ADP(JAデータ伝送サービス)の利用促進・利用拡大に取り組んでいます。

また、スマートフォン初心者のお客様に対して、基礎的な使い方や便利なサービス等を体験していただく「JAスマホ教室」を県内JAにおいて開催し、デジタルサービスの活用支援を行っています。

JAバンクはセキュリティ対策も万全を期しており、特にコロナ禍による不要な外出を避けたい方や平日日中のご来店が難しい方には、ご利用をお勧めしています。

○ JAバンク茨城公式 Instagram への投稿

JAバンク茨城公式 Instagram を2019年12月より開設し、各種県域キャンペーンのご案内やJAバンク茨城で開催したイベント等について定期的に投稿しています。

2022年度上期は、SDGsへの取り組みとして開始した「子ども食堂応援定期貯金」や、JAカード期間限定キャンペーンのPRとして、県内JA直売所紹介動画を発信しました。

その他、JAグループ体系的な取り組みである国消国産・地産地消の取り組みや、魅力ある農業の実現に向けて、今後も本ツールを通じた周知活動に力を入れていきたいと考えています。

<JAバンク茨城アカウント>



<Instagram への投稿内容>



ibarakikenshinren_official どうも、JAバンクのよりぞうです！

JAバンク茨城では、「子ども食堂応援定期貯金」の取扱を開始します！

子ども食堂応援定期貯金は、お客様にお預入れいただいた金額の0.0125%相当額を、茨城県内の子ども食堂に寄付する商品です。寄付金は、JAバンク茨城を代表して茨城県信用農業協同組合連合会が全額負担いたしますので、お客様の負担はなしで子ども食堂を応援することができます！

取扱開始・終了時期および商品の概要はJAごとに異なりますので、最寄りのJAにお気軽にお問い合わせください。

#JAバンク茨城#JAグループ茨城#JA
#よりぞう#農協#子ども食堂#定期貯金#貯金#定期貯金#子ども食堂#SDGs#sdgs#持続可能な開発目標#貧困をなくそう#飢餓をゼロに#すべての人に健康と福祉を#質の高い教育をみんなに#ジェンダー平等を実現しよう#住み続けられるまちづくりを#つくる責任#守る責任#平和と公正をすべての人に#パートナーシップで目標を達成しよう



ibarakikenshinren_official どうも、JAバンクのよりぞうです！
今回は、期間限定のJAカード特典をお知らせいたします。

JAカードを利用すれば、JA直売所の新鮮な野菜いつでもおトクに購入いただけます！
詳細は、JAバンク茨城のホームページでもご確認ください。

#JAバンク茨城#JAグループ茨城#よりぞう#JA#農協#JAカード#JA直売所

□ ボランティア活動への取り組み

当会は、SDGsの達成や事業を展開する地域社会への還元・貢献を目的として、「JAバンク茨城県信連ボランティアサークル」を設立・運営しています。

当サークルは、全役職員参加型事業として2018年度より活動しており、以下の活動等を通じて地域の活動に積極的に参加しています。

なお、当会は地球環境に配慮した取り組みを積極的に行う事業所として、茨城県に登録する「茨城県エコ事業所登録制度」に申請し、2008年11月10日に「AAA」の登録認定を受けています。

○ 「子ども応援プロジェクト」への取組み

日本の食を支える農業団体として、フードバンク茨城が主催する本プロジェクト趣旨に賛同し、様々な事情によって食に困るお子様のいる世帯やコロナ禍により食事に困窮する学生を支援するため、当会役職員の家庭在庫から食材を持ち寄り、7月中旬にフードバンク茨城各支部(水戸・牛久)へ提供しました。

後日、フードバンク支部を通じて、お子様やその親権者、および学生から感謝の言葉をいただいております。

<子ども応援プロジェクトの様相>



○ 県内児童養護施設への物資提供

地域の将来を担う健全な青少年の育成に日々邁進されている県内児童養護施設の運営に協力する取組みとして、当会役職員から持ち寄った生活・学習用品等を、7月下旬に那珂市のチルドレンズ・ホーム(社会福祉法人 慈川会)に寄贈しました。

当施設からは、「子どもたちのために大切にに使わせていただきたい。」とお言葉を頂戴し、当会提供の品が子どもたちの健やかな成長に微力ながらもお役に立てることを心から願うところです。

<県内児童養護施設への物資提供の様相>





2022年度 上半期経営状況

2022年12月掲載

茨城県信用農業協同組合連合会 総務企画部

〒310-0022 茨城県水戸市梅香1-1-4

TEL029-232-2017